

令和5年度

第92回全国民生委員児童委員大会（広島大会）

活動交流集会 資料

【活動交流集会4】

生活困窮世帯への支援と民生委員・児童委員活動

令和5年11月22日（水）

全国民生委員児童委員連合会

【活動交流集会 4】

生活困窮世帯への支援と民生委員・児童委員活動

ねらい

民生委員・児童委員は、永年にわたり社会的孤立状態にある人や生活困窮世帯の把握、相談に携わってきました。生活困窮者自立支援制度においても、支援へのつなぎ役として、大きな期待が寄せられています。

新型コロナウイルス感染症による社会活動の自粛等により、生活困窮世帯や複合的な課題を抱える世帯が増えており、地域での包括的な支援体制構築がますます重要になっています。

本集会では、生活困窮者自立支援制度の最新の動向や理解を深めるとともに、地域の生活困窮者への支援体制の構築をさらにすすめるため、社協や社会福祉施設などの関係機関との連携など、民生委員・児童委員や民児協の今後の取り組みについて考えます。

■コーディネーター 小 松 理 佐 子 (日本福祉大学 社会福祉学部 教授)

■事例発表者 福 司 慶 子 (東京都 板橋区民生・児童委員協議会 代表会長)

やま もと ゆき のり
山 本 幸 則 (和歌山県 社会福祉法人かつらぎ町社会福祉協議会
事務局長)

くら はし ひで こ
倉 橋 秀 子 (広島県 三原市民生委員児童委員連合協議会
第3区民生委員児童委員協議会 副会長)

■運営責任者 ぬき な みち お
貫 名 通 生 (全国民生委員児童委員連合会 副会長)

すみ だ たつ のぶ
住 田 達 宣 (全国民生委員児童委員連合会 理事)

■運営幹事 たわら なお こ
俵 尚 子 (広島県民生委員児童委員協議会 副会長
／海田町民生委員児童委員協議会 会長)

■司会進行 え そ すえ みつ
江 曾 末 光 (広島県民生委員児童委員協議会 理事
／三原市民生委員児童委員連合協議会 会長)

※敬称略

※写真に写る人物には発表者等を通じて掲載の了承を得ました

【活動交流集会 4】コーディネーター

生活困窮世帯への支援と民生委員・児童委員活動

日本福祉大学 社会福祉学部
教授 小松 理佐子

活動交流集会4

生活困窮世帯への支援と 民生委員・児童委員活動

日本福祉大学 小松理佐子

コロナ禍で… 生活福祉資金の貸付実績

資金種類	2009年度		2010年度		2011年度		リーマンショック時 (2009～2011年度の 1年当たり平均)		新型コロナ感染拡大時 (2021年3月末まで)	
	件数	金額 (億円)	件数	金額 (億円)	件数	金額 (億円)	件数	金額 (億円)	件数	金額 (億円)
緊急小口資金	15,590	13.3	21,376	18.6	81,597	106.7	39,521	46.2	1,106,735	2,051.6
総合支援資金 (～H21.9:離職者支援資金)	28,313	202.8	41,344	262.2	18,320	103.2	29,326	189.4	785,446	5,641.7
計	43,903	216.1	62,720	280.8	99,917	209.9	68,847	235.6	1,892,181	7,693.2

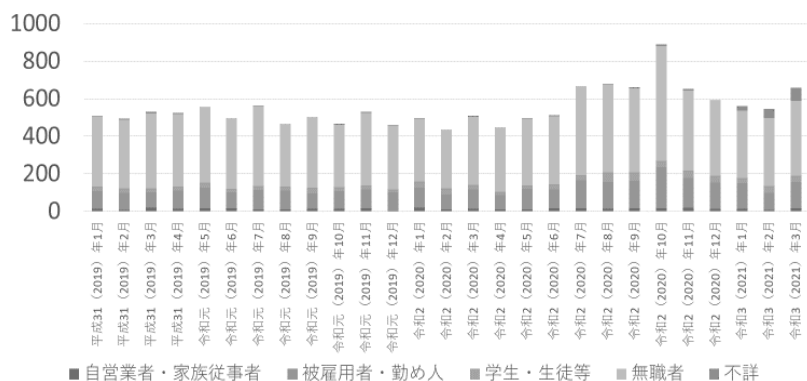
資料: 厚生労働省社会援護局調べ(厚生労働省HPより)

コロナ禍で…

新しい生活困難層

- 低所得不安定就労
- ひとり親世帯の
孤立・生活困難
- 軽度の知的障害
- 低年金
- 孤立 等

職業別自殺者の推移(女性)



出所：『男女共同参画白書 令和3年版』

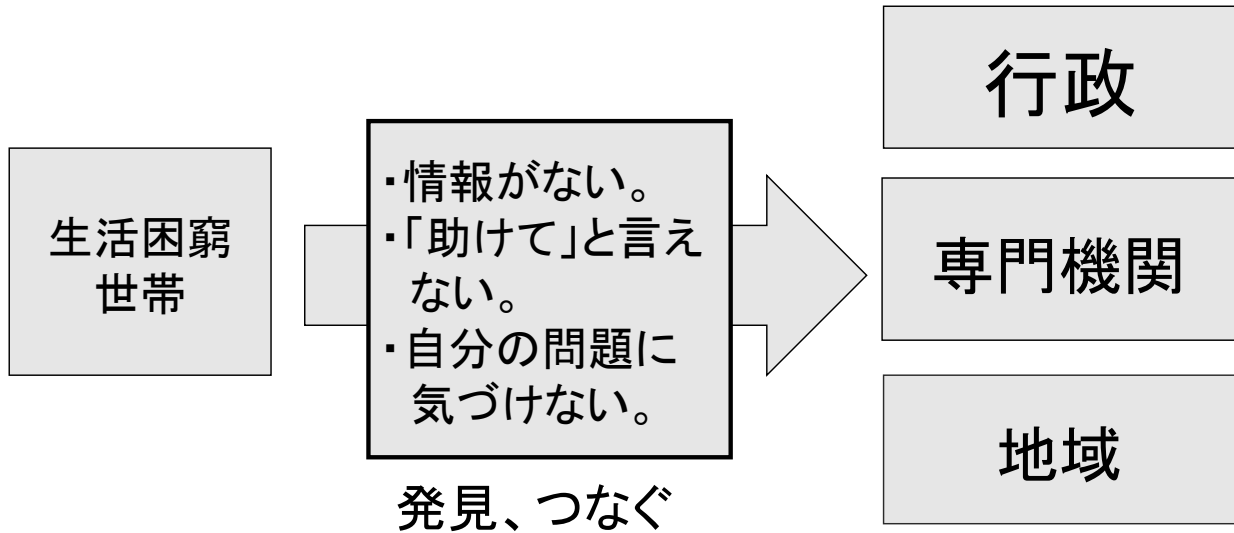
生活困窮世帯の課題

—「お金がないこと」に付随して—

- 金銭管理
- 健康状態の悪化
- 子どもの貧困
(不登校、ひきこもり、ヤングケアラー)
→ 学習支援、進学支援
- 就労支援
- 住まい
- など

民生委員・児童委員への期待

—専門職がいても、民生委員・児童委員が必要!?!—



和歌山県かつらぎ町の事例から

- 「生きていても仕方がない」が、「生きる勇気を与えてもらった」に変わるまで＜伴走支援＞
- 「気にかけてくれる人がいる」という安心感
＝民生委員・児童委員の力
- 専門職とのチームの中で役割を発揮する

東京都板橋区の事例から

- 食品配付会に民生委員・児童委員が関わる意義
 - 食品の配付ができる
 - 温かい声かけ、会話、雰囲気
 - 子育て世代と知り合う
 - 民生委員・児童委員を知ってもらう
- 次の活動に発展する可能性
 - 発見、見守り
- 民生委員・児童委員自身の学び

広島県三原市の事例から

- 高齢化率 49.05%の地域での見守り
- 心配しているけれど、関わりづらい
 - ネットワーク
 - 民間事業者とつながる
 - 協力店を支援する活動
- 相談者の抱える困りごとは重複している
 - 「気になる」ことから

まとめ
—生活困窮世帯への民生委員・児童委員活動—

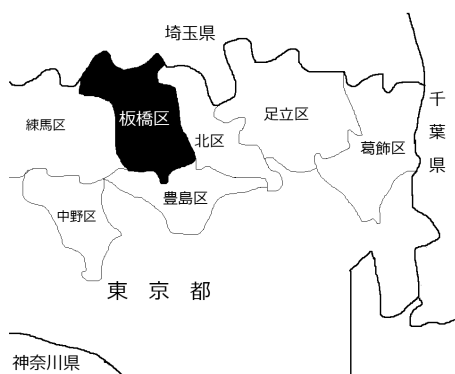
- ふだんの生活の中で「気づき」
- 地域の専門機関はもとより、民間事業者、住民など、さまざまな人とのつながりで対応する。
- 地域活動に関わることが、発見、支援につながる。
- 民生委員・児童委員のよさは、温かい声掛け。

【活動交流集会 4】事例発表者

食からはじまる支え合い

東京都 板橋区民生・児童委員協議会
代表会長 福司 慶子

1. 板橋区の概要



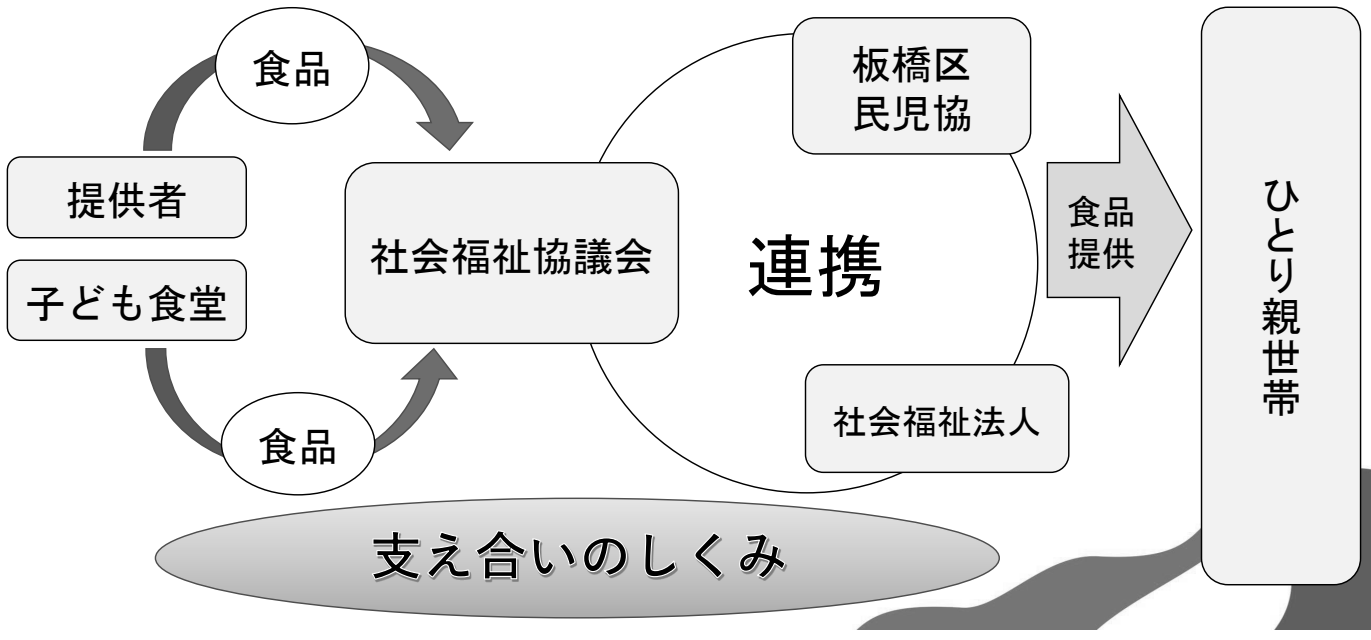
令和5年4月1日現在

人口	570,076人
高齢者数	131,660人
世帯数	323,501世帯
単位民児協	17地区
民生・児童委員定数	536人 (内主任児童委員35人)
現員数 (令和5年9月現在)	501人 (内主任児童委員34人)

2. 板橋区民生・児童委員協議会

- 高齢者の見守り調査
 - あいさつ運動、登下校の見守り、スクールガード
 - 児童扶養手当受給者の訪問調査
 - 児童館のイベントのお手伝い
 - 災害時避難行動要支援者への協力
- ◎ **食品配付会**

3. 食品配付会のきっかけ



4. 食品配付会の内容

■食品配付会とは？

フードパントリー活動として食品配付会で食品などを直接渡す活動

■対象

ひとり親家庭、多子世帯、児童養護施設卒園者

■周知方法

ひとり親家庭に向けた制度を記した印刷物への掲載
郵送、民生委員児童委員協議会、施設等への情報提供、HP掲載



5. 食品配付会の様子



毎回、18地区の民生委員が運営に参画
物品提供、食料品、生理用品、玩具等の
配付

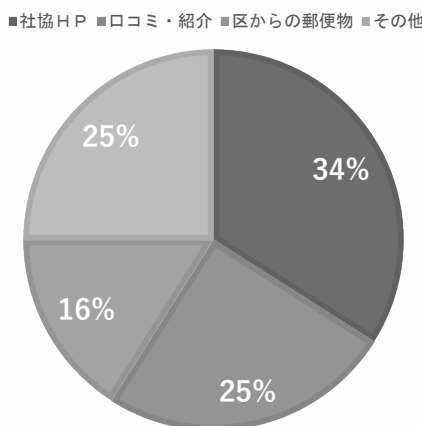
民生委員活動や、子どもの居場所活動の
PR等を実施

単に参加者に食品を配付するだけでは
なく、温かい声掛けや会話等、地域で
のコミュニケーションを大切に、ほっ
とできる雰囲気づくりを目指す

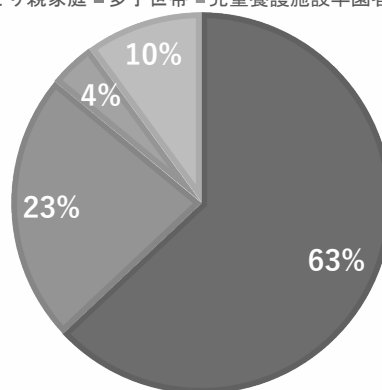


6. 参加者の統計

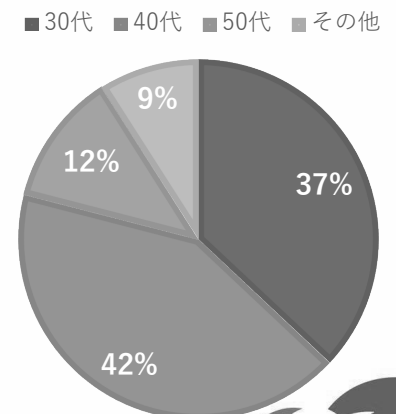
参加経緯



世帯



参加者の年代



7. 民生・児童委員と参加者の声

民生・児童委員

- ・子育て世代と知り合うきっかけになっている
- ・経済的支援が必要な子育て世帯について間近に接する場
- ・みなさんの笑顔に出会えるのはうれしい

参加者

- ・自分の地域の民生委員さんや、その活動を知ることができてとてもよかった
- ・子ども食堂、居場所等の情報を知ることができた
- ・温かく迎えていただきうれしかった

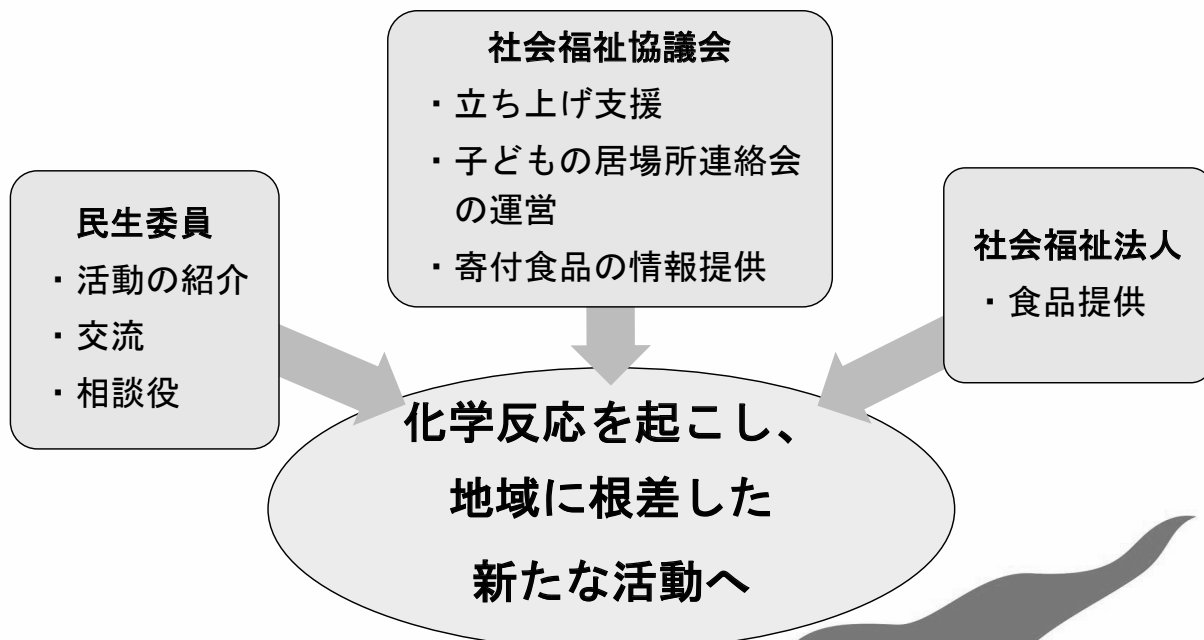


8. どんな効果があった？

板橋区

- ・令和2年度～令和4年度 計23日間
1,935セットを配付
- ・民生委員という相談役の存在を知る機会
- ・民児協との交流➡大きな支え、癒し、「自分たちが住む地域」を意識する機会に。
- ・地域の居場所、専門機関・制度へとつながる
- ・民生委員と各機関が同じ方向に向かって連携・協働

9. 3者だからできたこと



10. 課題、そして新規事業へ

<課題>

- ・実施回数の検討

<新規事業>

7月3日～ 街かどフードパントリー

食品支援×相談支援

食品配付会での支援活動から、
現在フードパントリーや子ども食堂に繋がった。

<今後の板橋区民児協について>

引き続き、支援事業に積極的に参加・協力をし、
民生・児童委員活動を周知し、
地域の見守り役・つなぎ役・頼れる存在として、
さらに活躍していきたいと考えています。

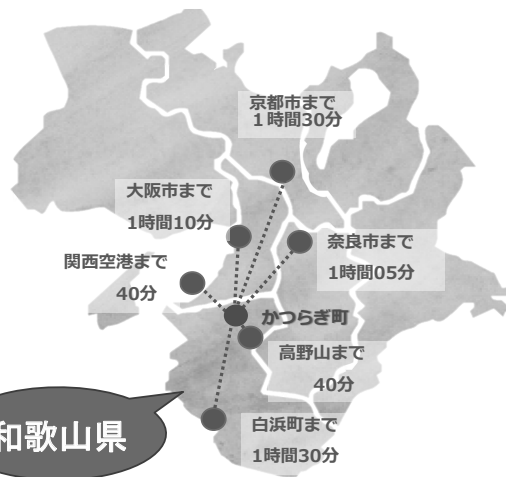


【活動交流集会 4】事例発表者

生活福祉資金貸付事業と民生委員・児童委員活動
—借受世帯にとって心強い味方に—

和歌山県 社会福祉法人 かつらぎ町社会福祉協議会
事務局長 山本 幸則

かつらぎ町の概要（令和5年6月末日現在）



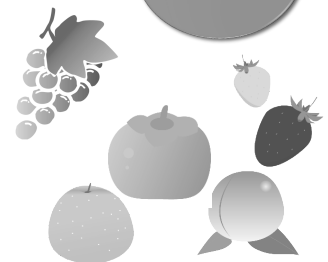
❖人口 15,726 人（前年比△292 人）
❖世帯数 7,159世帯（前年比 +5世帯）

❖18歳以下 2,071 人（13.2%）
❖65歳以上 6,288 人（40.0%）

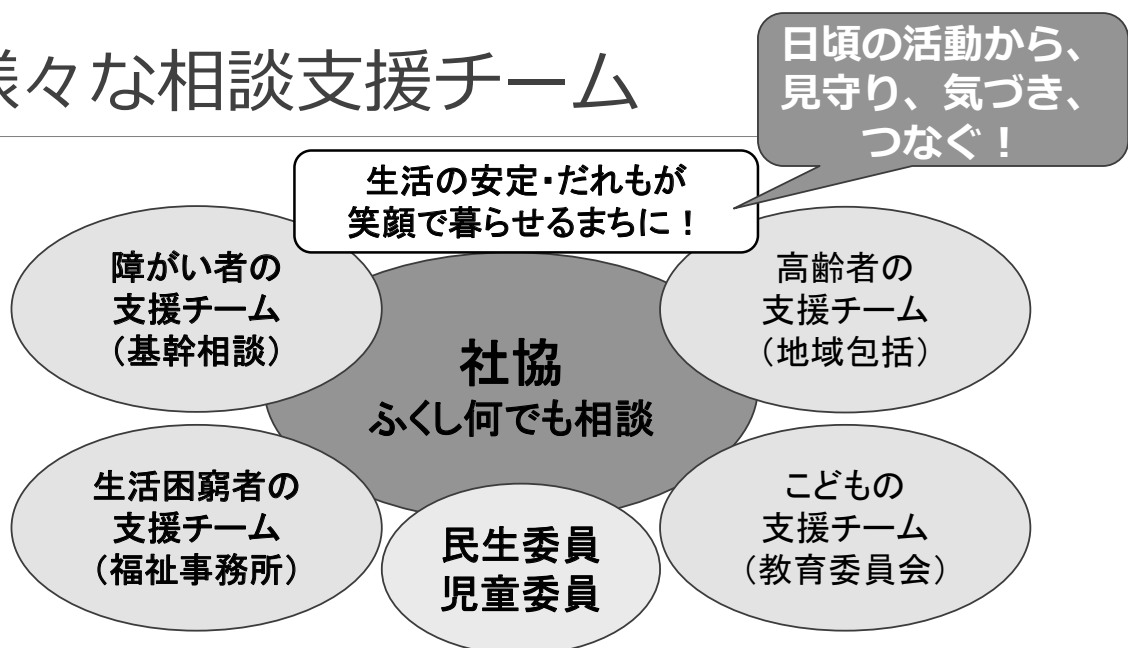
❖小学校 5 校
❖中学校 2 校

❖民生児童委員 72 人
（うち主任児童委員 3 人）

フルーツ
のまち

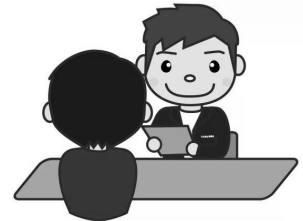


様々な相談支援チーム



相談事例「生きていても仕方ない！」

- 内容
- ・ 2～3日、何も食べていない。
 - ・ 収入の当てがない。
 - ・ 電気は、まもなく止められる。
 - ・ 家賃も払えない。



**「生きていても仕方がない！」と悪い方に
考えてしまう。
「仕事さえあればなんとかなるのに！」**

対応①「再出発の道を模索」

- ・ 今までの生活を振り返り、これからの生活に「希望」が持てるよう話し合いを重ねた。
- ・ 衣類は、問題なし。
- ・ 食事は、非常食の活用。職員に声をかけ持ち寄る。フードバンク和歌山に支援を求める。



**「衣・食・住」を確保し再出発の道を模索。
まずは、緊急一時的な支援を行った。**

対応②「生活の安定を目指す」

- ・「住環境」は、ライフラインを確保するために生活福祉資金の緊急小口資金を活用。
➡仕事に就くための基盤を整えた。
- ・自立相談支援機関（福祉事務所）の協力により仕事が決まったが、給料までの生活費が課題。
- ・家賃の滞納により退去を迫られる。



**生活福祉資金の総合支援資金を活用し、
「生活の安定」を目指した。**

結果「元気を取り戻した」



- ・仕事を任されるようになった。
➡「生きる勇気を与えてもらった」と元気を取り戻した。
- ・初めての給料日に、お礼にと食料品を持参。
➡配食サービスの食材に活用



**困ったときは、勇気を出して助けを求め、
余裕ができたときは、その恩返しをする。
「困ったときはお互いさま！」**

民生委員・児童委員の関わり



- ・身近な地域での見守り・声かけ・定期的に訪問。
- ・時には、おかずなどをおすそ分け。
- ・借受人さん（世帯）の味方に！

ひとり
ではない!!

➡「気にかけてくれている」という安心感。



民生児童委員は、借金を取り立て屋ではありません。借受人のがんばりを応援し、生活の再建・安定をサポートする役割。

民生委員との情報共有（調査委員会）

	コロナ特例貸付	通常貸付
情報共有	・ 定例の民生委員役員会 （月1回）➡ 地区会へ	・ 調査委員会・情報交換会 （年1回）
参加者	・ 民生委員役員 ➡ 担当民生委員 ・ 町担当者 ・ 社協担当者	・ 民生委員役員 ・ 担当民生委員 ・ 町担当者 ・ 社協担当者 ・ 自立相談支援員など
ねらい	・ 制度の周知・活用。 ・ 民生委員、社協、関係者、 各々の役割を確認・共有。	・ 制度の周知・活用。 ・ 民生委員、社協、関係者、 各々の役割を確認・共有。

気にかけて、寄り添う（早期発見!）

かつらぎ町社会福祉協議会は、民生委員との連携、自立相談支援機関や行政、関係者とのつながりにより、生活に困っている方を中心に課題を共有し、伴走支援に取り組んでいます。

“気にかけてくれている”

“寄り添ってくれている”

と借受人や相談者、関係者が思えるように・・・。

相談支援の体制は、必要に応じて変えていく必要があります！

ご清聴ありがとうございました



世界遺産
丹生都比売神社



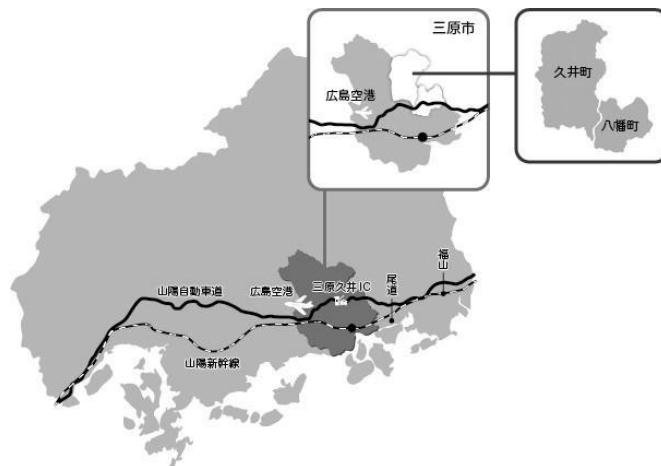
福祉ネット久井協力店の取り組みと民生委員活動

広島県 三原市民生委員児童委員連合協議会
第 3 区民生委員児童委員協議会
副会長 倉橋 秀子

【三原市第3区民児協エリアの地域概要】

第3区民児協エリア	三原市久井町・八幡町
総人口（人）	4,565人
65歳以上人口（人）	2,264人（高齢化率49.05%）
世帯数	1,893世帯
自治会数	13自治会
民生委員児童委員数	21人（定数23人）

（令和5年3月末住民基本台帳より）



三原市の北部にある久井町・八幡町（久井中学校区）を指し、田園風景の広がるいわゆる中山間地域です。昔ながらの隣近所の人間関係も残っており、支え合い・助け合いの気持ちが醸成、地域のふれあいサロンや見守り活動等の住民活動が非常に活発な地域です。

また、久井稲生神社や宇根山、久井の岩海などの観光スポットもあり、祇園祭やはだか祭り、冬ホタルイルミネーションなどのイベントも熱心に行われている地域です。

【三原市第3区民生委員児童委員協議会の取り組み・活動内容】

○三原市民児協共通の取り組み

- ・高齢者等ふれあい巡回訪問
- ・定例会・研修会
- ・各地域の地域福祉活動への協力
- ・各委員会活動（総務企画委員会・研修委員会・広報委員会）
- ・各部会の活動（地域福祉部会・自立支援部会・生活福祉部会・児童福祉部会）
- ・赤い羽根共同募金運動への協力 など

○第3区民児協独自の取り組み

- ・第3区民児協と久井町関係機関との連携会議
- ・児童とふれあおう会
- ・地区単位協議会（4地区ごと）
- ・高齢者と民生委員の集い
- ・久井！さわやか高原まつりへの参加



- ・久井地区地域福祉ネットワーク会議「福祉ネット久井」への協力
- ・福祉ネット久井協力店への協力

【第3区民児協エリアの生活困窮者の状況】

○ひとり暮らし高齢者の生活課題（生活困窮）

- ・病気等で仕事ができなくなり，途端に生活が苦しくなる世帯
- ・もともと家計管理が苦手で，「お金がない」と病院に行かない人
- ・タバコや酒が優先で，食生活に課題がある人

○子どもの様子から生活困窮が疑われる人

- ・親の世代に障害（疑い）があり，十分な栄養が取れていない子ども
- ・不登校，ひきこもりとなり，コロナ禍も重なり食事の心配がある子ども



民生委員として「心配」はしているけど、
情報は少ないし、プライバシーもあるので
積極的に関わりづらい・・・



【「福祉ネット久井協力店」の活動へのきっかけ①】

会議での一場面



自動車販売店も、地域の気になる人、心配な人を把握しているよね。

地域の商店も、高齢や認知症など「ちょっと気になるなあ・・・」と思っているんじゃないか

地域の福祉専門職も、地元商店とつながることで、スムーズな支援にならないかな・・・

どこかにつなげたら良いけど、社協や包括に直接言うのはちょっと・・・

福祉専門職が商店側に出向くことで関係性の構築，つなぎやすくなるんじゃないかな

巡回するなら，民生委員活動にも活きると思う。第3区民児協として一緒に取り組めないか？

【「福祉ネット久井協力店」の活動へのきっかけ②】

○「福祉ネット久井」での自動車販売店による学習会

- ・高齢になるにつれて、車の事故は確実に増えている。事故したことを気づかないまま運転している高齢者もいる。
- ・運転の継続を心配し、家族に連絡をすることもあるが、本人は運転を継続したい、家族は運転をやめさせたい……。相反する意見の板挟みになることもある。

○協力店への候補店舗の意見（一部抜粋）

- ・（ガソリンスタンド）明らかに普段と様子の違う人、体調の悪そうな人、運転が危険な人など心配する人は多くいる。民生委員や専門職と連携できることは嬉しい。
- ・（コンビニ）駐車場で運転の危険な人、自宅にものが多いお宅（配達）、配達しても出てこられない人、心配な人は多くいる。民生委員や専門職と連携したい場面はたくさんある。
- ・（郵便局）通帳の再発行を繰り返す人、頻回に振り込みをする人など気になる人は多くいる。協力店の取り組みは良いと思う。

【「福祉ネット久井協力店」の活動への取り組み内容①】

目 的

- ・地域住民の抱える心配ごとを早期に把握し、適切な支援につなげる。
- ・店舗側と福祉専門職の顔つなぎ、相談しやすい関係づくりを深める。

方 法

- ・久井町内の商店・金融機関等に福祉専門職・地域の民生委員などの巡回担当者が訪問し、お話を伺う機会を設ける。

協力店舗

- ・久井・八幡町内（第3区民児協エリア）の13の店舗を対象

訪問担当者

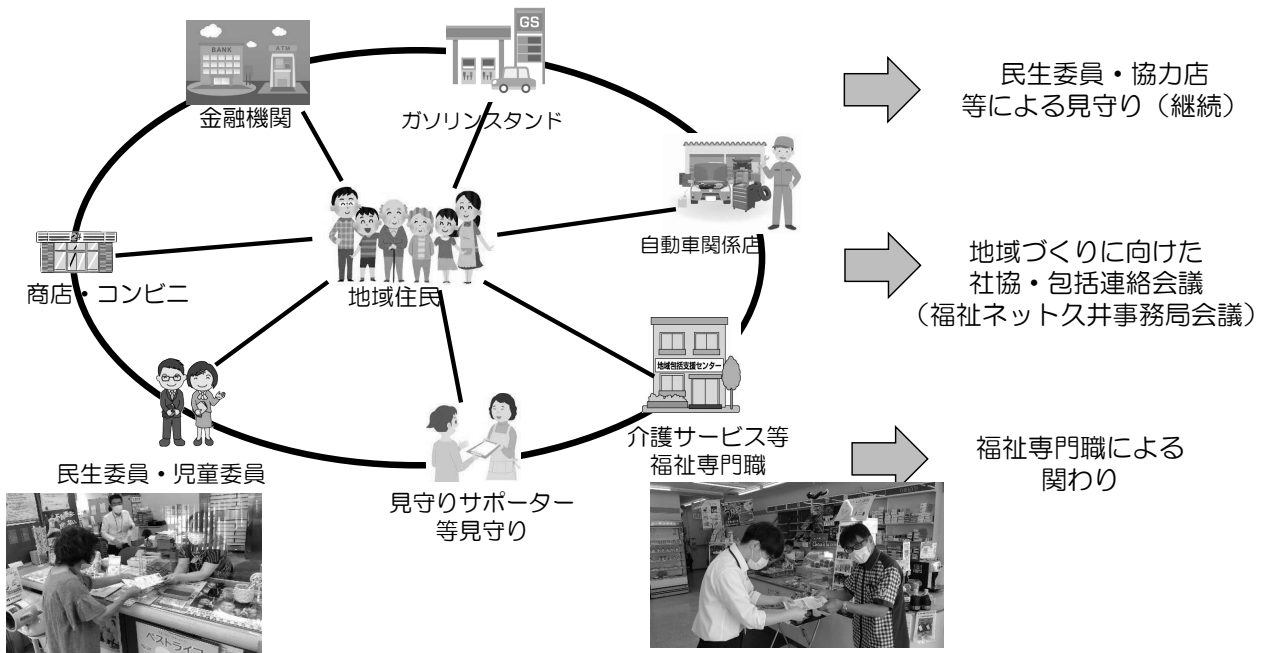
- ・第3区民児協・三原市北部地域包括支援センター
- ・保健福祉センター（市保健師）・社協久井地域センター

巡回訪問開始：令和2年9月（訪問頻度は月に一回）



民生委員による訪問の様子

【「福祉ネット久井協力店」の取り組み内容②】



【「福祉ネット久井協力店」の立ち上げ当初の課題】

- ・ 気になることや、心配なことが上がりづらい（個人情報）
- ・ 協力店からは「なんとかしてほしい」との相談（丸投げ）
- ・ 金融機関からは法律の壁もあり，個人名を出すことができない
- ・ 日常業務の中で訪問を継続することが困難（訪問回数）など

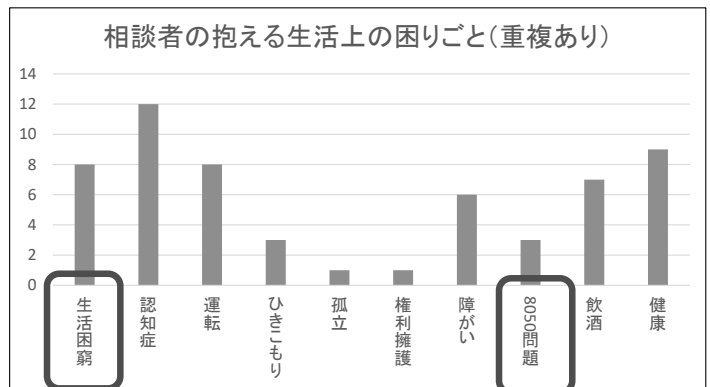
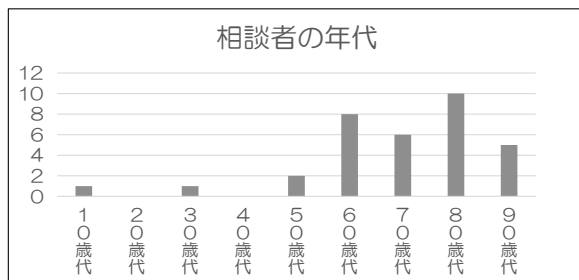
取り組みを成熟させる工夫

- ・ 金融機関に対しては，困りごとを抱えた人に社協や包括の相談窓口の紹介をお願いする（チラシを設置）
- ・ 福祉ネット久井運営委員（専門職）に巡回担当者として2事業所追加（令和4年度～，居宅介護支援事業所・グループホーム）
- ・ 訪問を繰り返す中で，協力店との関係性構築を目指す

【「福祉ネット久井協力店」の活動への取り組みの効果・成果】

○福祉ネット久井協力店実績（R2年9月1日～R5年6月30日）

- ・訪問回数：延べ336回
- ・相談件数：34件



- ・相談内容の変化：

立ち上げ当初は、「なんとかしてほしい」といった相談が目立ったが、訪問が定着した今は、「わたしらが見守っとるけ、もしものときは頼むよ」との協力店側の「見守り」の気持ちが出てきている。

【「福祉ネット久井協力店」の活動がめざすこと】

○すぐに相談につながらず、成果が見えにくくても、訪問することを継続すること
（地域の相談窓口の機能）

○福祉ネット久井協力店への参画により、民生委員活動の強化
（高齢者等ふれあい訪問活動）

○福祉専門職と民生委員、協力店の連携体制の強化

○協力店・民生委員・地域住民・福祉専門職などの関係者による重層的な見守り活動の継続（困りごとの早期発見と早期つなぎ）

○困りごと相談の入り口を強化することで、声をあげづらい「生活困窮者」にも支援の手が届くように・・・

ご清聴ありがとうございました。

